まちのニュース

ピカピカの一年生 ご入学おめでとう

4月6日、穏やかで晴々とした青空の下、町内の小中学校で、入学式が行われました。今回、新入生としては、小学校で206人、中学校で247人の児童・生徒が入学しました。

求名小学校狩宿分校では、兄の羅緒（りお）くんに迎えられ、弟の稜斗（ろうど）くんが一人入学しました。

求名小学校狩宿分校に入学する屋地（やじ）稜斗（ろうど）くん

ようこそ せんせい

4月7日、本町の小・中学校に新しく赴任された65人の先生方を迎え、教職員歓迎会及び宣誓式が行われました。

歓迎会では、井上章三町長と濵田等議会議長のあいさつの後、本町の特産品「うめジュース」で乾杯し、「たけのこ」や「ごぼう」などの郷土の素材をふんだんに使った料理で先生方をもてなしました。

その後、宣誓式が行われ、牧山美枝子事務主査（柏原小学校）と迫田奈緒子教諭（鶴田小学校）が本町での決意を宣誓しました。

郷土の素材を使った料理を味わう先生

奥さつま米を受け取る新一年生

地元産ヒノヒカリ「奥さつま米」を寄贈

4月6日、さつま農業協同組合（永福喜作組合長）から、地域の宝である子どもたちに、地域でとれたおいしいお米を食べてもらいたいと地元産ヒノヒカリ「奥さつま米」205kgが寄贈されました。

県下でも唯一、普通期米種子の採種ほ場として名高い中津川の中津川小学校の新一年生4人が代表で受け取りました。

寄贈された「奥さつま米」は、各給食センターへ配達され、さつま町内の小中学校で、学校給食米として使用されました。

日本一早い 完熟マンゴー

3月31日、さつま農協マンゴー部会主催による平成18年産マンゴー収穫祭が新生地区の福岡隆治さんのハウスで開催されました。

生産者は、赤く熟したマンゴーの甘い香りが漂う中、ネットに落ちたマンゴーを1個ずつ丁寧に収穫されました。

本町のマンゴーは、日本一早い完熟マンゴーとして、市場から高い評価を受け、今年は約8.1トンの生産量で、2,835万円の売上げを見込んでいます。

赤く熟したマンゴーを手にする関係者